

独立行政法人国立病院機構岩国医療センターの移転に関する要望書

独立行政法人国立病院機構岩国医療センターは、山口県東部では唯一の救急救命センター、地域がん診療連携拠点病院、へき地医療拠点病院及び地域医療支援病院等に位置付けられ、地域医療の中核を担う医療機関としての役割を果たしていますが、現病院は、施設の老朽化が進んでおり、また、交通アクセス問題から救急医療等に支障が生じかねない状況です。

こうした現状や多くの市民の要望を踏まえ、これまで市街地中心部に位置する愛宕山開発用地への移転に向け、山口県・岩国市・岩国医療センターの三者で協議を進めてきたところです。

愛宕山開発用地への新築移転により、高度・専門的医療の実施はもとより、人材の確保も可能となることから、本市では、岩国医療センターの移転を核として、消防庁舎の統合移転や防災機能を備えた多目的広場等の整備を一体的に進める「医療・防災拠点づくり」に取り組むこととしています。

つきましては、こうした地元の状況を勘案の上、岩国医療センターの愛宕山開発用地への移転等に関し、特段の措置がなされるよう次の事項を要望いたします。

- 独立行政法人国立病院機構岩国医療センターの愛宕山地域への早期移転
- 岩国医療センターの移転に伴う道路、上水道及び下水道等のインフラ整備への支援
- 愛宕山地域における「医療・防災拠点づくり」への支援

平成 21 年 6 月

岩国市長 福田良彦

独立行政法人 国立病院機構 **岩国医療センターの移転について**

